

## 2010年国勢調査速報の千葉県内市町村の人口は、増加数では船橋市、増加率では白井市がともに初めてトップ

千葉県は2月9日に、5年ごとに行われる国勢調査(10年10月1日時点)の速報値を発表した。それによると、県全体の人口は6,217,119人で、05年調査比160,657人増加し、増加率も同+2.65%となり、増加人数、増加率ともに前回(00~05年 +130,177人、+2.20%)を上回った。県内54市町村の人口をみると、増加数では船橋市が05年調査比で+39,246人と最も大きく、次いで千葉市(同+37,811人)、柏市(同+23,116人)の順となった。同増加率では白井市が同+13.86%とトップで、次いで印西市(同+8.69%)、流山市(同+7.44%)の順となった(合併等による人口増加要因は調整済)。

鉄道新線の開業により都内へのアクセスが改善した地域や、利便性の高さからマンション建設が活発化している地域、また、大型商業施設の開店や専門店の充実により、街の魅力を高めた地域などで人口が大きく増加した。人口増加率上位の、白井市、印西市、船橋市にまたがる千葉ニュータウン地域では、05~10年の5年間に大型ショッピングモールのオープンが相次ぎ、街の魅力を高めたことが、人口増加につながったとみられる。このような中、これまで千葉市が常にトップだった人口増加数でも、今回調査で初めて船橋市がトップとなった。

この間流山市は、05年につくばエクスプレスが開業した効果もあり、沿線開発が進み、前回調査時と比べて、人口の増加が顕著だった(増加数順位が15位→5位)。また、印西市にある千葉ニュータウン中央駅や印旛日本医大駅には、都心へ直結する成田スカイアクセス線の「アクセス特急」が停車することが、街の魅力を向上させたと考えられる。

木更津市では、00~05年では人口が減少(▲534人、▲0.43%)していたが、05~10年では7,057人増加(+5.77%)と、大きく人口増加に転じており、これはアクアラインの料金割引等の影響があったとみられる。

05~10年に人口が増加した市町村は23あるが、00~05年の26から減少した。減少から増加に転じたのは1市(前述の木更津市)で、増加から減少に転じたのが4市町村だった。

人口減少数が多いのは、銚子市(同▲4,795人)や香取市(同▲4,447人)で、減少率が多いのは、鋸南町(同▲8.44%)、長南町(同▲7.63%)など郡部の市町で目立った。

今後は、県内においても少子高齢化が進展していくことが予想されるが、地域ごとの人口動態は、その魅力づくりに関わる行政の取組や交通利便性、中心市街地の活性化などにより、大きく変化していくため、今回の調査結果の活用が期待される。(観音寺)

県内市町村別人口増減数

(単位：人)

順位	市町村	05~10年	順位	00~05年	順位	00~10年
1	船橋市	39,246	3	19,761	2	59,007
2	千葉市	37,811	1	37,155	1	74,966
3	柏市	23,116	7	7,185	4	30,301
4	松戸市	12,060	6	7,738	7	19,798
5	流山市	11,353	15	2,114	8	13,467
:	:	:	:	:	:	:
11	木更津市	7,057	35	▲534	13	6,523
:	:	:	:	:	:	:
50	八街市	▲2,536	11	3,140	26	604
51	南房総市	▲2,650	51	▲2,391	52	▲5,041
52	山武市	▲2,938	50	▲1,590	50	▲4,528
53	香取市	▲4,447	53	▲3,611	53	▲8,058
54	銚子市	▲4,795	54	▲3,677	54	▲8,472

県内市町村別人口増減率

(単位：%)

順位	市町村	05~10年	順位	00~05年	順位	00~10年
1	白井市	13.86	5	5.10	2	19.67
2	印西市	8.69	19	1.66	5	10.49
3	流山市	7.44	20	1.40	7	8.95
4	船橋市	6.89	11	3.59	4	10.73
5	成田市	6.44	10	3.63	6	10.30
:	:	:	:	:	:	:
8	木更津市	5.77	28	▲0.43	15	5.31
:	:	:	:	:	:	:
50	銚子市	▲6.39	46	▲4.67	47	▲10.77
51	大多喜町	▲7.27	48	▲5.01	52	▲11.91
52	栄町	▲7.36	44	▲4.31	51	▲11.36
53	長南町	▲7.63	54	▲7.56	53	▲14.62
54	鋸南町	▲8.44	53	▲7.06	54	▲14.90